

緑内障視野変化確率分析: Glaucoma change probability Analysis



緑内障及び緑内障の疑われる患者の視野の時系変化がランダムな変動(ばらつき)か、真の変動(視野変化)なのかを識別することを目的とする。

ベースライン
最初の2回の検査結果の平均をとったもの。但し、2回の検査結果のみ選択された場合、最初をベースライン、2回めの結果をフォローアップとする。初回の検査結果のMDが2回め以降の合計5回以上の検査結果MDと比較して著しく低下している場合(P>5%)、初回の検査結果は除外され2回めと3回めの結果を採用する。

緑内障性視野変化確率マップ(Change Probability Map):フォローアップ

患者個々のベースラインのデータから変化確率マップとMD変化の有意性を測定毎に示唆し、微小な視野欠損の解析を行い、初期の視野変化の検出が可能となる。欠損の検出された場所が、単に正常のばらつきに起因するものか、またはそれ以外に起因するものかを判別する。

プリントアウト例は説明書より抜粋

